

平成 22 年 6 月 補正予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

No.	事業名(予算の事務事業名)			区分	
16	ワッツ東館公共施設導入事業(都市整備事務事業(まちづくり総務課))			新規	拡大 継続
会計区分	款	項	目	所管	
一般会計	8	4	2	都市局 まちづくり推進部 まちづくり総務課	
事務事業の位置付け					
しあわせ倍増プラン2009	番号		事業名		
総合振興計画新実施計画	事業コード		事業名		
根拠法令・条例・規則等					
予算要求事業の概要					
内容	岩槻駅東口に立地する再開発ビル「ワッツ(東館)」への公共施設導入を推進します。 【導入施設】 1 岩槻区役所 2 岩槻区保健センター 3 (仮称)岩槻教育相談室				
目的・目標	<p><目的> 本市の副都心の一つである「岩槻駅周辺地区」のシンボリック的存在として、岩槻駅東口に立地する再開発ビル「ワッツ(東館)」については、平成21年度末のキーテナント(マイカル)の退店を受け、現在、当該ビルの管理運営等を行う「岩槻都市振興株」により後継テナント誘致に向けたリーシング活動を進めているものの、現在の厳しい社会情勢下において、全ての床について新規テナントが入居することは困難な状況です。このことから、「岩槻都市振興株」の経営再建に係るRCC企業再生スキームにおいて、安定した賃料収入の確保及びのまちの衰退化を避けるため前提となっている、「ワッツ(東館)」への公共施設導入について推進するものです。</p> <p><目標(平成23年度8月)> 1 岩槻区役所の移転入居 2 岩槻区保健センターの移転入居 3 (仮称)岩槻教育相談室の新設</p>				
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)> 1 ワッツ東館公共施設導入機能等庁内検討委員会開催(委員会・幹事会) 3回 2 ワッツビル東館公共施設配置基本計画策定 3 都市経営戦略会議意思決定(平成22年4月27・28日)</p> <p><課題> 1 平成23年度の公共施設入居に向けた、短期間での事業推進 2 今後の岩槻のまちづくりを見据えた既存公共施設移転後跡地のあり方検討</p>				
今後のスケジュール	<p><平成22年度> ・8月上旬～11月下旬 公共施設床改修実施設計 ・12月定例会 公共施設床改修工事費、公共施設床賃借料補正議案上程 ・平成23年2月～ 公共施設床賃借、公共施設床改修工事 ・2月定例会 区役所移転条例改正議案上程</p> <p><平成23年度> ・～平成23年7月 公共施設床改修工事 ・平成23年8月 公共施設入居</p>				

2 補正予算要求の理由と効果

要求理由	緊急性	ワッツビルの管理・運営を行う「岩槻都市振興株」の経営再建方策の実施に向けて策定した再生計画において、平成23年度当初からの公共利用による賃料確保を前提としており、この計画に併せた公共施設入居が実現しない場合、他のテナントの退店を招くことも想定され、ひいては、岩槻都市振興株の経営再建が図れず、ワッツビルの空洞化、岩槻駅周辺地区のまちの衰退化を引き起こすことも懸念されます。
	実施義務	根拠法令等
	他市の実施状況	全 国： 埼玉県内：
効果	対象者	ワッツビル東館
	効果	・ワッツビル東館へ岩槻区役所等が移転することによる、ビルの空洞化⇒まちの衰退化の防止 ・区役所移転と現地存続の今後20年間のコスト比較では、移転した方が有効であると想定

3 当初予算、補正予算要求、査定の内容

(単位：千円)

年度	区分	金額	備考
	平成22年度	当初予算	0
財源内訳			
6月補正予算	補正予算要求	46,200	<積算内訳> 1 ワッツ東館公共施設床改修実施設計 【新規】
	財源内訳	46,200	① 一般財源
	財政局長査定	46,200	<査定内容> 1 ワッツ東館公共施設床改修実施設計 【新規】
	財源内訳	30,000 16,200	① 市債 ② 一般財源 ・市債(一般事業債 充当率65%)
	<査定理由> 事業スケジュールを考慮し必要な経費であると判断し、6月補正予算に計上することとしました。		
	市長査定	46,200	<査定内容> 1 ワッツ東館公共施設床改修実施設計 【新規】
	財源内訳	30,000 16,200	① 市債 ② 一般財源 ・市債(一般事業債 充当率65%)
	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。		